

(仮称) 宇都宮市デジタル社会形成ビジョン等の構成について

◎ 趣 旨

「ビジョン」及び「タスク」の構成等について協議するとともに、各団体におけるデジタル化の現状・課題等について、ご意見をいただくもの

1 ビジョン及びタスクの構成について

(1) ビジョンの範囲・構成

ア 範囲

デジタル社会は、地域社会を構成する各主体がそれぞれの立場でデジタル化に取り組み、互いに協力・連携していくことで達成する社会であることから、「ビジョン」は、行政のみならず、市民・事業者・地域団体など社会を構成する各主体を含む範囲とする。

イ 構成

- ・ 「ビジョン」には、デジタル化の背景・課題を踏まえ、本市が「目指すべき姿」を掲げ、共通の価値観をもって各主体がデジタル化に取り組んでいくための「基本方針」や目指すべき姿にむけた「取組の方向性」を盛り込んでいく。
- ・ また、「ビジョン」に掲げる目指すべき姿への進捗を計るため、「成果指標」を設定していく。
- ・ なお、国の「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」で示された「デジタル社会形成の基本原則」(別紙4参照)などを踏まえ、下記の要素で構成していく。

主な項目	内容
1 序論 (前提)	背景・位置付け・目的・デジタル化の現状など、(ビジョンの前提となる事項)
2 課題	現状等を踏まえた課題の抽出・整理
3 目指すべき姿 (将来像)	本市が目指すデジタル社会の姿を示すもの 【例示】「〇〇〇〇 デジタルCity うつのみや」など
4 基本方針 (行動規範)	デジタル化を進めていく上での共通の価値観を示すもの 【例示】「前例踏襲からの脱却」, 「アジャイル (迅速・柔軟)」など
5 取組の方向性	目指すべき姿の実現に向けた、取組の方向性を示すもの 【例示】「あらゆる市民がデジタル化の恩恵を享受できる社会づくり」 など
6 成果指標	ビジョンに掲げた目指すべき姿への進捗を計る達成状況を示すもの ⇒ 市の施策事業の個別指標ではなく、社会の状態を捉えた指標としていくことから、総合計画改定基本計画と整合を図りながら今後、検討していく。

(2) タスクの範囲・構成

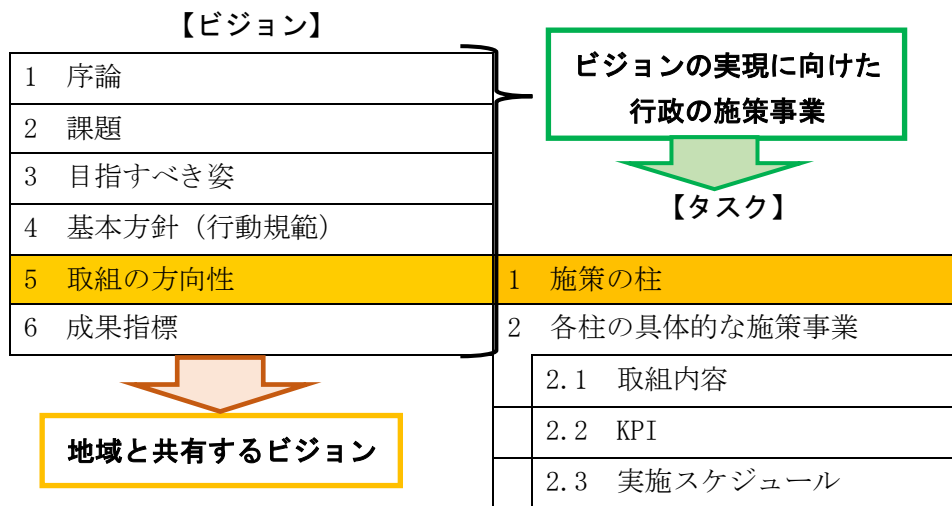
- 「タスク」では、ビジョンで定めた目指すべき姿の実現に向け、「施策の柱」に基づき、行政として取り組んでいく具体的な施策事業（行政サービスのデジタル化や地域のデジタル化を促進する事業など）を柔軟かつ機動的に展開していくものであることから、事業の内容や目標指数・実施スケジュール等を盛り込んでいく。

タスクの主な項目	内容
1 施策の柱	目指すべき姿の実現に向けた、施策の方向性等を示すもの 【例示】あらゆる市民がデジタル化の恩恵を享受できる社会づくりなど
2 各柱の具体的な施策事業	【例示】デジタルデバイドの解消
2.1 取組内容	事業の内容や手法等を示すもの 【例示】スマホ教室の開催
2.2 KPI	事業の目指す状態を示すもの
2.3 実施スケジュール	実施に向けてのスケジュールを示すもの

- 「タスク」の運用については、各施策事業の向こう3年間のスケジュールを明示し、外部環境等の変化に適切かつ柔軟に対応できるよう、毎年度、見直しを行いながら、時代に即したデジタル施策を展開していく。
※「タスク」では、状況の変化や事業の成果等により、見直し等も柔軟に行っていく。

※ 現行計画と「ビジョン」及び「タスク」の構成については、**別紙5**参照

【ビジョンとタスクの関係】



2 各団体におけるデジタル化の現状・課題等について

今後、上記の構成に基づき、地域で共有できる「目指すべき姿」や「行動規範」等を定めていくために、今回は、各団体や業界における「デジタル化の現状や課題等」について、意見交換を行う。

⇒ 意見交換については、別紙6にて進行